

## 平成 24 年度 実施メニュー実施結果表

No. 94 (当初計画 : No. 97)

東北森林管理局

取組名	間伐材の需要拡大の推進 (継続)
流域名	雄物川流域
重点事項番号	①-13 ③-34
実施箇所及び実施日	秋田森林管理署管内 平成 24 年 6 月～12 月
取組の背景及び必要性	伐採系森林整備の拡充と、これまでの未利用材 (未搬出物件) の生産量への取り入れに伴い、木質バイオマスへの利用推進に資するとともに、需要開発、販路の拡大など積極的な対応が必要である。
取組の内容	<p>これまでの取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・秋田県、森林総合研究所東北支所と協力し国有林に設定した強度収穫間伐試験地の現地視察の実施、試験地の取組を紹介して木質バイオマスへの関心を深め、低質材搬出について意見交換を実施。</li> <li>・県内の素材生産業者、木材流通業者等へ低質材に関するアンケートを実施。</li> <li>・秋田署における平成 20・21 年度生産量と生産材の分析。</li> </ul> <p>平成 24 年度の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・伐採系森林整備の実施により、木材の安定供給及び地球温暖化防止に寄与している。</li> </ul> <p>平成 24 年度生産量 : 77,613 m<sup>3</sup> (合板材は 2 万 m<sup>3</sup> 強)、生産コスト : 10,415 円 / m<sup>3</sup>、労働生産性 : 5.45 m<sup>3</sup> / 人・日、セット構成人員 : 5 人</p>
国有林担当部局・役割	販売課・秋田森林管理署 (業務第 1・2 課、流域管理調整官) 指導普及課
連携協働相手先・役割	販売委託契約先～販路の拡大、及び用途について情報収集 森林総研東北支所～試験研究及び試験結果等情報提供
取組の結果、反響、今後の課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・秋田署における平成 24 年度生産量と生産材の整理。</li> <li>・低質材の利用拡大に向けて情報の収集が必要である。</li> </ul>
PR の実施状況及びその期待する効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・木材の安定供給</li> <li>・低質材の積極的な搬出と販路及び用途の拡大</li> </ul>

【参考資料】

取組名	間伐材の需要拡大の推進（継続）
-----	-----------------

生産請負資材の巻立



## 平成 24 年度 実施メニュー実施結果表

No. 95 (当初計画 : No.98)

東北森林管理局

取組名	民国連携集約化施業モデル団地の事業実施 (継続)
流域名	雄物川流域
重点事項番号	②-22、③-34、
実施箇所及び実施日	秋田県仙北市西木町小湊野字小白川山国有林 1110 林班外 平成 24 年 11 月 28 日
取組の背景及び必要性	民国の連携による森林整備の推進のため、平成 22 年度において締結した集約化施業モデル団地において、各種研修、現地検討会、低質材の搬出を実施することにより今後の集約化施業プランの策定に資する。
取組の内容	これまでの取組 ・事業実施計画に基づき、間伐調査、民国作業路の選定。 ・現地把握により年度別事業実施計画の策定  平成 24 年度の取組 ・年度別事業実施計画に基づき、間伐調査、伐採搬出を実施。 ・集約化施業モデル団地を活用した現地検討会を開催。 当モデル団地の取組について報告、間伐の低コスト化に向けた取組について講義を実施。
国有林担当部局・役割	販売課・計画課 秋田森林管理署 (業務第 1・2 課、流域管理調整官) 間伐調査の委託、立木販売
連携協働相手先・役割	雄物川流域林業活性化センター (仙北地域振興局・仙北東森林組合・小白川地区森林所有者・小白川分収造林組合) 間伐調査、立木伐採、工程調査の実施。検討会等の開催
取組の結果、反響、今後の課題等	・当モデル団地で検討している間伐コスト等の調査を行うとともに、事業の検証を図ることで、今後における集約化施業プランの策定が必要である。 ・高性能林業機械による作業システム、作業道作設等の研修会の開催など当モデル団地の活用が必要である。
PR の実施状況及びその期待する効果	雄物川流域において民国集約化施業の推進のモデル団地として広く PR 出来る。

【参考資料】

取 組 名 民国連携集約化施業モデル団地の事業実施（継続）

集約化施業モデル団地の説明



民有林の間伐材搬出状況



室内での報告会



## 平成 24 年度 実施メニュー実施結果表

No. 96 (当初計画 : No. 99)

東北森林管理局

取組名	森林ガイド事業とタイアップした治山見学会の実施 (継続)	
流域名	雄物川流域	
重点事項番号	④ - 43、⑥ - 61	
実施箇所及び実施日	不実施	
取組の背景及び必要性	森林ガイド事業については、これまでも継続的に年 2 回実施しているところであるが、安全・安心への取り組みの一環として、年 1 回を治山見学会を組み入れたガイド事業を実施することにより一般市民 (地域住民) の防災意識を高めるとともに、国有林野で実施している治山事業への理解を深める必要がある。	
取組の内容	これまでの取組 治山見学会を含めたガイド事業 (H22 新奥の細道散策、H23 仁別国民の森散策) を実施。  平成 24 年度の取組 ・ 治山事業の実施との日程が折り合わないため不実行とした。	
	国有林担当 部局・役割	秋田森林管理署 (治山課・業務第一課・流域管理調整官・森林官)
	連携協働相手先・役割	
取組の結果、反響、今後の課題等	治山事業の実施日程とガイド箇所等の整合性を図りながら検討することが必要。	
PR の実施状況及びその期待する効果	なし	

## 平成 24 年度 実施メニュー実施結果表

No. 97 (当初計画 : No. 100)

東北森林管理局

取組名	ナラ枯れ等森林病虫害防除の強化 (継続)
流域名	雄物川流域
重点事項番号	⑥ - 63
実施箇所及び実施日	秋田市外 平成 24 年 7 月 ~ 8 月、平成 24 年 11 月 2 日
取組の背景及び必要性	ナラ枯れ被害が拡大している中で、早期発見、早期駆除による拡散防止に努めることが必要不可欠であり、地域との連携により情報の共有化を図り、民国一体的な対策を講じる必要がある。
取組の内容	これまでの取組 ・森林病虫害の早期発見のため森林官・署内職員によるパトロールの実施。 ・森林病虫害防除対策連絡調整会議に出席し県内の被害状況について情報交換。 平成 24 年度の取組 ・署、森林事務所間の情報を密にし、効率的なパトロールを実施。 ・森林病虫害防除対策連絡調整会議に出席し県内の被害状況について情報交換。
国有林担当部局・役割	秋田森林管理署 (業務第一課・業務第二課・森林官) ~ 巡視指導普及課 ~ 保護林保全保護対策
連携協働相手先・役割	秋田県・各市町村・湯沢支署 ~ 情報共有化
取組の結果、反響、今後の課題等	当管内国有林には、ナラ枯れの被害が無いが隣接した管内の情報を収集し、対策について研修会等の開催が必要。
PR の実施状況及びその期待する効果	民国一体となった被害防止に対する意識の高揚。

## 平成 24 年度 実施メニュー実施結果表

No. 98 (当初計画 : No. 101)

東北森林管理局

取組名	「レク森」仁別自然休養林のリフレッシュ対策 (継続)
流域名	雄物川流域
重点事項番号	⑥-61
実施箇所及び実施日	秋田森林管理署 務沢国有林 5月15日、6月2日、7月25日、10月13日、11月9日
取組の背景及び必要性	平成17年にリーディングプロジェクト実施箇所として、仁別自然休養林が指定され、これまでも周辺整備を実施し、平成21年度に「レク森の個別方針」を見直している。周辺整備等の更なる充実を一般市民、関係機関等から求められていることから、引き続き対策を講じていく必要がある。
取組の内容	これまでの取組 ・ボランティア等によるかん木園の整備、樹木名標柱の設置等。 ・仁別自然休養林保護管理協議会、仁別森林博物館ボランティア案内人による森林教室の開催。 ・豪雨により被災した遊歩道の整備。 平成24年度の取組 ・仁別森林博物館の開館及び閉館に伴い、秋田森林管理署森林ボランティア登録者によるかん木園の冬囲い撤去、冬囲い、歩道の整備を実施。・仁別保護管理協議会、仁別案内人会による体験学習を実施。・東北森林管理局、アサヒビール(株)秋田支社、仁別案内人会の3者協定により、木製歩道のすべり止め貼付と特定外来生物の駆除、水路の補修と巣箱づくりを実施。
国有林担当部局・役割	指導普及課、国有林野管理課、秋田森林管理署 協力して仁別自然休養林・仁別森林博物館のPRを実施。
連携協働相手先・役割	秋田市役所、仁別自然休養林保護管理協議会、仁別森林博物館ボランティア案内人会、アサヒビール(株)秋田支社、太平山リゾート公園との連携によるPR活動と情報連絡の徹底。
取組の結果、反響、今後の課題等	仁別森林博物館の入館者が毎年減少しており、ホームページ以外にも幅広いPR活動が必要である。
PRの実施状況及びその期待する効果	森林浴、森林環境教育等により一般市民の森林・林業、国有林に対する理解が得られる。

【参考資料】

取組名 「レク森」仁別自然休養林のリフレッシュ対策（継続）

かん木園の冬囲い、吊り橋の整備 11月9日



体験学習を実施（7月25日）



木製歩道のすべり止め貼付



巣箱づくり





## 平成 24 年度 実施メニュー実施結果表

No. 99 (当初計画 : No. 102)

東北森林管理局

取組名	国有林の景勝地等の見どころの座標化と P R の実施 (新規)
流域名	雄物川流域
重点事項番号	⑥ - 63
実施箇所及び実施日	秋田森林管理署 務沢国有林外 平成 25 年 5 月 ~ 10 月
取組の背景及び必要性	「国民の森」国有林の位置は基本図等により把握できるが国民と共有化されていない。巨樹・巨木等は明確な位置が確認出来ないため位置の座標化をはかる必要がある。
取組の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>管内の景勝地、巨樹・巨木、保護林等について現地の状況を確認するとともに G P S に位置を記録した。</li> <li>位置の座標化をはかる。</li> </ul>
国有林担当部局・役割	計画課、指導普及課、国有林野管理課 秋田森林管理署 (業務第一課・業務第二課・森林官) 地理情報の共有
連携協働相手先・役割	秋田県、各市町村、湯沢支署 : 情報の共有化
取組の結果、反響、今後の課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>見どころ写真情報について収集し、データを記録</li> <li>データの分析とホームページへの活用</li> <li>見どころ箇所の追加情報の収集</li> </ul>
P R の実施状況及びその期待する効果	今後ホームページの更新に活用することで国有林の森林情報を広く P R 出来る

【 参 考 資 料 】

取 組 名	国有林の見どころの座標化と P R (新規)
<p data-bbox="236 392 480 427">仁別自然休養林</p> 	<p data-bbox="863 392 1214 427">真昼岳植物群落保護林</p> 
<p data-bbox="323 824 499 860">太平山山頂</p> <p data-bbox="236 891 552 927">乳頭・駒ヶ岳風景林</p> 	<p data-bbox="986 824 1161 860">真昼岳山頂</p> <p data-bbox="863 891 1283 927">ユキツバキ植物群落保護林</p> 
<p data-bbox="288 1361 395 1397">男女岳</p> <p data-bbox="236 1429 448 1464">抱返り風景林</p> 	<p data-bbox="863 1429 1182 1464">金峰神社のスギ並木</p> 
<p data-bbox="288 2033 427 2069">回顧の滝</p>	

(様式 2)